

# 三鷹駅北口 街づくりニュース 創刊号

## ③ 意見交換を実施しました

「基本的な考え方」を用いた街の問題点や将来イメージの確認、大沢教授の講話を踏まえ、商店会や法人会、子育て世帯や高齢者、障害者の関係団体、交通事業者等のさまざまな立場の研究会構成員で意見交換を実施しました。



▲意見交換の様子

### 主なご意見/

- ・現状のロータリーは歩行者のためのスペースが少なく、雨天時には人々が溢れてしまう状況もあるため、しっかりと検討していく必要がある。
- ・2ロータリー化により一般車や歩行者の動線交錯を改善することは安全性と利便性の向上につながると思う。
- ・価値観の変化を踏まえた駅前街づくりや再開発を進めることが大切である。
- ・2ロータリー化以外の手段として南口のようなデッキはどうなのだろうかという疑問に思った。
- ・福祉車両がゆっくり安心して乗降できる環境にないので、バリアフリーで皆が安心して使いやすいものになると良い。
- ・子育て世代のベビーカー移動等が人の多い時間帯でもしやすくなると良い。
- ・バス待ち環境の充実をぜひ検討していきたい。
- ・観光バスを停めておく場所が少なく苦慮するケースが多い。
- ・中央大通りの西側のエリアには人がほとんど流れないので今後の民間開発等に注視したい。

## 今後の予定

	開催時期	実施内容・検討テーマ
オープンハウス	令和4年5月	街の将来像等に関する意見収集
ワークショップ(第1・2回)	6月	考え方1~4に関する意見収集
研究会(第1回)	8月	考え方1 駅周辺道路の交通体系の再編
研究会(第2回)	9月	考え方2 駅前広場の2ロータリー化 考え方3 駅前広場の拡張
研究会(第3回)	10月	考え方4 沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくり提言書(素案)の検討
アドバイザー委員会	11月	提言書(案)の確認
研究会(第4回)	令和5年1月	提言書の取りまとめ

※各開催日や参加方法は決まり次第、武蔵野市のホームページや市報でお知らせします。

「基本的な考え方」や、研究会の資料・記録は市のホームページでご覧いただけます

右記のQRをお手持ちのスマートフォン等で読み取っていただき、武蔵野市のホームページでご覧いただけます。

資料・記録



### <問い合わせ>

武蔵野市 都市整備部まちづくり推進課  
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28  
武蔵野市役所東棟4階  
電話 0422-60-1872 FAX 0422-51-9250

## “自動車中心”から“歩行者中心”の駅周辺へ

### 駅前広場と周辺道路の再整備を地域の皆さまと考えていきます

「三鷹駅北口街づくりビジョン」で描く目指すべき街の姿「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」の実現に向けた取り組みを進めています。

駅前広場と周辺道路については、現在整備を進める補助幹線道路が完成すると地域の交通環境が大きく変化することから、これを契機として、通過交通の流入をはじめとするさまざまな問題を解決するとともに、“自動車中心”から“歩行者中心”の空間への再整備を目指していきます。

## 検討プロセス



ここでは、これまでの取り組みと、これからの取り組みを紹介します。

これからの取り組みは「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方(以下「基本的な考え方」)」に示す、交通環境の課題とその解決に向けた4つの考え方をたたき台として、地域の皆さまと意見交換を進めていきます。

### これまでの取り組み

#### ■ 三鷹駅北口街づくりビジョン

概ね10年後の将来の目指すべき街の姿を描き、交通環境、土地利用、緑・にぎわいの3つの視点で実現に向けた取り組みを定めました。



#### ■ ENJOY OPEN STREETs 武蔵野

地域の企業や団体と連携し、かたらいの道、桜通り等の公共空間を、車両通行止めにし、歩行者中心のにぎわいエリアとする社会実験を行いました。



#### ■ ENJOY OPEN TERRACEs 武蔵野

沿道店舗と協力し、歩道上に客席を設置することで、日常的に街なかでの食事や、ちょっとした休憩ができるような、滞留空間をつくり出す社会実験を行いました。令和4年度も実施します。



### これからの取り組み

「基本的な考え方」をたたき台として意見収集・交換を行います

#### ■ オープンハウス

地域のイベントに合わせてブースを出し、パネルによる取り組み状況等の情報発信や意見収集を行います。



#### ■ ワークショップ

市民の皆さまから40名程度の参加者を募り、意見交換をグループワーク形式で実施します。



#### ■ 関係団体による研究会

三鷹駅北口で事業を営む商店会、法人会や、駅を利用する子育て世帯や高齢者、障害者の関係団体、公共交通を担う交通事業者等が参加し、意見交換を行います。交通環境基本方針の策定に向けた提言書を取りまとめ、市長に報告します。

「研究会(準備会)」を開催しました(中面)

# 三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた研究会（準備会）を開催しました

令和4年2月、「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた研究会（準備会）」を開催しました。

今回は準備会として、研究会の目的や提言に向けた検討プロセスを確認し、これまでの取り組みを振り返りながら「基本的な考え方」の概要を紹介しました。また、日本大学の大沢昌玄教授より、三鷹駅北口の交通環境に関して講話をいただいた後、意見交換を行いました。

- (1) はじめに
- (2) 研究会の主旨説明
- (3) これまでの取り組みについて
- (4) 三鷹駅北口の交通環境について（日本大学 大沢教授）
- (5) 意見交換
- (6) その他連絡事項

▲会議次第



▲「基本的な考え方」

## ①「基本的な考え方」を紹介しました

「基本的な考え方」の概要として、現状の問題点や将来イメージ、検討を進めるうえでポイントとなる4つの考え方等を紹介しました。

### 4つの考え方

- 考え方1 「駅周辺道路の交通体系の再編」
- 考え方2 「駅前広場の2ロータリー化」
- 考え方3 「駅前広場の拡張」
- 考え方4 「沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくり」

### 将来イメージ



※「基本的な考え方」は、武蔵野市のホームページでご覧いただけます(本紙掲載のQRからアクセスできます)。

## ② 大沢教授にお話しいただきました

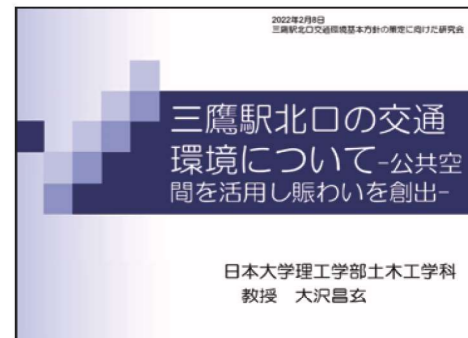
▼大沢教授講話資料

日本大学の大沢昌玄教授からは「三鷹駅北口の交通環境について - 公共空間を活用し賑わいを創出 -」をテーマに、三鷹駅北口の将来像の実現に向けた検討を進めていくうえで重要な、示唆に富んだお話をいただきました。

ここでは大沢教授の講話の内容を、当日資料の一部と共に紹介します。

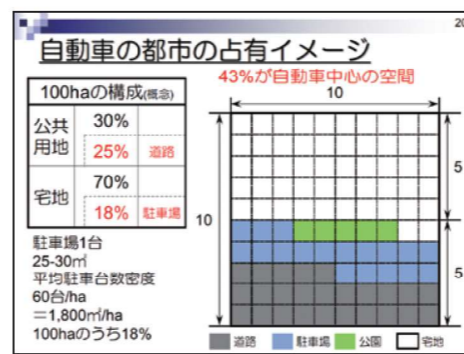
### ■ 都市空間に対する人の価値観の変化

三鷹駅北口の今後の交通環境の在り方を検討していくうえで前提として考えるべきことは「都市空間に対する人の価値観の変化」です。成熟社会におけるライフスタイルや価値観の変化から、公園や駅前広場、道路等の公共空間の在り方も再考が求められています。機能の確保だけでなく、価値や持続性を高める視点が重要です。



#### 都市内の空間に対する価値観の変化

- ▶成長社会から成熟社会への移行：量から質へ
- ▶ライフスタイル：生活の質を重視(本質を求める)
- ▶価値観：多様化(時を費やすことの価値観など)
- ▶公園など都市空間を構成する施設のあり方再考
- ✓「機能確保のための開発・整備」「(単なる)空間の確保」から「価値・持続性を高める複合的更新」へ
- ✓機能を基礎とした合理的な市街地の形成から、様々なアクティビティが展開され持続可能で多様に富む市街地へ



### ■ 自動車中心の現在の都市空間

計画的に整備された一般的な都市空間のうち、道路と駐車場が約43%もの割合を占められています。現在の自動車中心の空間から、歩行者中心の空間へ官民連携のもと変えていくことで、新たな賑わいの創出等さまざまな効果が期待できます。駅前での空間づくりにあたっては、駅と周辺のまちを一体的に捉えて考えることが重要です。

### ■ 成熟時代の新たなライフスタイルの創造

成熟時代においては、駅前広場等は「目的地に早く着く・家に帰る」こと等の交通結節点としての機能だけではなく、滞留できることが評価されます。駅舎及び駅前広場に併設して、安心して快適に過ごせる場所が存在することが大切です。駅周辺をサードプレイスと捉える、新たなライフスタイルの創造が求められます。

※サードプレイス：自宅や職場、学校ではない、心地のよい第三の居場所。

#### 成熟時代の新たなライフスタイルの創造

- ▶滞留することを評価する
- ・今まで：目的地に早く着く、帰る(速達性・定時性)
- ・これから：混雑や渋滞等により移動に苦痛が伴う場合は、滞留しピークを避けて移動する
- ▶滞留時間が長い＝魅力的な都市空間
- ・私事目的で滞留時間が長い都市
- ＝魅力的な都市、利用したい施設が整っている
- ・帰宅時に最寄り駅で端末交通手段に乗り換える前に滞留時間が見られる
- ＝魅力的な駅前空間、端末交通手段に乗り換える前に「ちょっと一杯」「買い物」

#### 考えるポイント

- ▶これからのライフスタイルを考える
- 「目的地まで最も早く」「早く帰る」からの脱却
- 「待つ」「時を費やす」重要性
- 従来の「単なる交通結節点」から脱却する
- ▶誰のための計画か？ → 人々のため
- ▶公共空間を最大限活用する
- トラフィック・アクセス+滞留(公共空間活用)
- ▶道路・駅前広場と合わせた周辺の市街地の整備
- 沿道土地利用との関係、駅まち空間
- ▶変化に合わせて必要とする駅前広場の機能と規模

### ■ 三鷹駅北口の将来像を考えるポイント

上記の話を読み、三鷹駅北口の将来像の実現に向けた検討を進めるうえでは「これからのライフスタイルを考えること」「人のための計画であること」「公共空間を最大限活用すること」「道路・駅前広場と合わせた周辺の市街地の整備」「変化に合わせて必要とする駅前広場の機能と規模」が重要なポイントになります。また、公共空間を活用するうえでは、既存の交通機能への配慮が必要となります。